

# 杉並区子供読書活動推進計画(案)

平成 22 年度～平成 26 年度

平成 22 年 1 月



杉並区教育委員会



## 目 次

本との出会い	1
第1章 基本方針	2
1 計画改定の趣旨	2
2 子供の状況と計画の評価	2
3 計画の基本的考え方	3
4 計画期間	5
5 計画の定期的な見直し	5
第2章 子供読書活動推進の取組み ～区民と区との協働による読書環境の向上をめざして～	6
1 家庭・地域等における読書活動の推進	6
2 学校における読書活動の推進	8
3 図書館等における読書活動の推進	10
4 読書活動に関する情報の発信	12
5 読書活動を推進するための体制と 関係機関の協力・連携	13
○計画の体系図	14
○計画事業一覧	15
《参考資料》	17

## ～本との出会い～

本を読むことは、言うまでもなく他人から強制されることではありません。また、活字と向かい合うことは、テレビゲームのように直接、視覚に訴えかけるものでもないため、ともすれば敬遠されやすく、関心も低くなり易いものです。

しかし、子供が社会の一員として成長していく過程では、言葉を学び、感性を磨き、豊かな人間性を培うとともに、自らの考えを表現し、伝えることにより人との関わり方を身に付けていくことが重要です。

本との出会いは、偶然かもしれません。けれどもその偶然が、次の素晴らしい出会いを招き、子供が本の面白さや知る喜びを感じるとともに、人間性を培うきっかけにもなり得るものだと思います。だからこそ家庭や地域、学校、行政がそうした出会いを可能にする環境を整えていくことが必要なのです。



# 第1章 基本方針

## 1 計画改定の趣旨

文字・活字文化振興法の制定などを踏まえ、平成18年度に「杉並区子供読書活動推進計画」を改定し、子供の読書活動の推進に努めてきた結果、小学校での読書活動や区立図書館の児童登録者数が目標を達成するなどの成果を上げてきました。

しかし、依然として中・高校生になると未読者の割合が高まる傾向にあり、「OECD生徒の学習到達度調査（PISA）」の結果からは、子供の読解力の低下傾向が示されており、児童・生徒の読解力の向上も課題となっています。そこで、これまでの取組みを検証するとともに、これらの課題に対応し、子供の読書活動を一層推進するため、計画の改定を行うこととしたものです。

※ 未読者 1か月の間に1冊も本を読まなかった児童・生徒のこと

## 2 子供の状況と計画の評価

### （1）杉並区の子供の状況

杉並区立小・中学校学力調査、意識・実態調査によると、杉並区の子供の1か月間の平均読書冊数は、小学校3年生から6年生で、平成17年度8.8冊、平成21年度9.3冊、中学生で平成17年度3.1冊、平成21年度4.4冊と着実に伸びています。

しかし、年代別にみると、小学校3年生11.9冊、同6年生6.6冊、中学1年生5.2冊、同3年生3.6冊と学年がすすむにつれて減少する傾向はこれまでと変わっていません。また、小学生、中学生の未読者の割合も低下しておらず、平均すると平成21年度小学生が7.1%、中学生が13.0%となっています。

全国学校図書館協議会と毎日新聞社が平成20年に共同で行った第54回学校読書調査では、平均読書冊数は増えているのに、本を読まない子が増えているという結果が出ていて、「読む子」と「読まない子」の差が大きくなっていて、少ない人数でたくさん本を読むから「読まない子」が多くても冊数は増えるのではないかとの分析がなされています。

第二次東京都子供読書活動推進計画の中でも、依然として1か月に1冊も本を読まない児童・生徒が存在していること、また学年が上がるにつれ本を読まない児童・生徒の割合が上昇する傾向が見られるとの指摘がなされています。

こうした子供の状況を踏まえ、引続き読書活動の推進を図っていく必要があります。

## (2) 計画の評価

現行計画（「平成 18 年度～平成 22 年度」の計画、以下同じ）では、学校図書館や教師など学校への総合的な支援、区立図書館による学校支援体制の強化を重点施策に掲げ取組みを進め、学校図書館及び学校での読書活動を充実しました。

また、ブックスタート事業、調べる学習賞コンクールの実施、区立図書館の新設、図書サービスコーナーの設置などにより、子供の読書活動の推進に一定の成果を上げてきました。

現行計画で掲げた成果指標をみても、すでに目標を達成したものもあり、多くが目標の達成に向け進んでいます。

しかし、0 歳から就学までの世代と中学生・高校生の世代への施策の充実、学校司書の配置を含めた学校図書館の運営体制の一層の充実、教職員の指導体制の強化、子育て世代への意識啓発などの課題も生じています。施策ごとの評価、成果指標の達成状況は、参考資料「1 現行計画の評価」、「2 成果指標の達成状況」のとおりです。

## 3 計画の基本的考え方

### (1) 計画の性格

杉並区子供読書活動推進計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」第 9 条第 2 項の規定に基づき策定した計画です。

0 歳から概ね 18 歳までの子供を対象とし、読書活動を活発に進めるための施策の方向性や取組みを示したものです。

### (2) 基本的考え方

子供が本と親しむことにより、思考力を高め、表現力を学び、想像力を身に付け、豊かな人間性と社会性を育むことが出来るよう子供の読書環境の整備を図ります。

#### ① 子供の読書機会の提供と読書環境の充実

杉並区の子供の読書活動を推進するため、家庭・地域・学校において、子供が本に触れたり、読書に親しんだりする機会を積極的に提供するとともに施設整備を進め、子供の読書環境の充実を図ります。

#### ② 地域ぐるみでの読書活動推進体制の充実

地域社会全体で、子供の読書活動を支えていくため、区立図書館を中心として関係機関、NPO、ボランティアなど地域人材との連携を図ります。

### ③ 子供の読書活動推進のための人材育成

子供の読書活動に関わる地域人材を育成し、地域における読書活動の担い手を増やすとともに、地域人材への支援をしていきます。また、教師や関係機関の職員等の専門性を高めていきます。

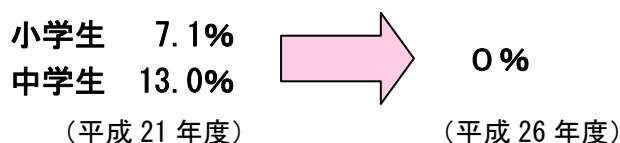
### ④ 子供の読書活動に関わる保護者等への支援

子供の読書活動の意義について、保護者等に対する啓発事業を積極的に行い、理解と関心を深めていきます。

また、読書活動に関する情報提供や育児における読書活動についての支援事業を実施するなど保護者等への支援を通して子供の読書活動を推進します。

## (3) 計画の目標

本計画は、子供の読書環境を整備し、未読者の割合を「ゼロ」にすることをめざします。



到達指標		平成 20 年度	平成 26 年度
① 学校図書館図書標準 100%達成の学校の割合	小学校	20.9 %	80 %
	中学校	39.1 %	80 %
② 読書活動指導計画策定校の割合	小学校	67.4% (H21)	100 %
	中学校	39.1% (H21)	100 %
③ 学校図書館の1人当たり年間貸出冊数	小学校	18.7 冊	36 冊
	中学校	2.5 冊	12 冊
④ 区立図書館の児童資料数		563,736 冊	640,000 冊
⑤ 区立図書館の子供1人当たり年間利用回数		2.5 回	4 回
⑥ 年間こどもページアクセス回数		—	65,000 回

※ 学校図書館図書標準とは、文部科学省が定めた学校図書館に整備すべき蔵書の標準冊数

#### (4) 重点的取組み

現行計画の成果と課題を踏まえ、本計画では、次の施策に重点的に取り組めます。

##### ① 区立図書館での乳幼児への支援の充実、中学生・高校生向けサービスの充実 (第2章 1-(2)、3-(6))

絵本やおはなしを通して子育てを楽しむためのブックガイドの作成、読書相談などにより乳幼児期の読書活動を推進します。また、ヤングアダルトコーナーの一層の拡大充実を図るなど、中学生、高校生の読書活動を推進します。

##### ② 学校図書館及び教職員の指導体制の充実 (第2章 2-(2).(3))

「読書センター」「学習情報センター」をめざし、学校司書及び司書教諭の配置、施設や蔵書の整備を行い、学校図書館を充実します。また教職員の読書活動や調べ学習等の知識や技術のレベルアップを図り、指導体制を充実します。

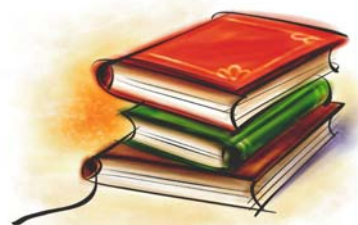
※ 読書センターは、①図書資料の閲覧②読書相談、読書指導③図書館利用の指導などの機能を、学習情報センターは、①国語、調べ学習等の授業の実施②授業・教材研究への資料、情報の提供③児童・生徒の自発的、主体的な学習活動支援などの機能を指す。

## 4 計画期間

平成22年度～平成26年度（5年間）

## 5 計画の定期的な見直し

杉並区子供読書活動推進計画は、常に実態に即した計画としていくため、原則として3年に一度改定し、新たな計画を策定することとします。



## 第2章 子供読書活動推進の取組み

～区民と区との協働による読書環境の向上をめざして～

区民と区とが協働し、それぞれの立場や役割、責任において、読書活動を積極的に推進し、0歳から18歳までの大事な人格形成期にある子供へ素晴らしい本との出会いを提供します。

### 1 家庭・地域等における読書活動の推進

子供本人だけでなく、保護者への働きかけを進め、子供の生活の中心である家庭での読書活動の充実に努めます。また、地域のボランティア、NPOなどと協働し、家庭・地域での子供の読書活動を推進します。

#### (1) ブックスタート事業の充実

ブックスタートは、図書館と保健センターが協力し、4か月健診(乳児)の際に、絵本と図書館情報などの入ったブックスタートパックを保護者に手渡す活動です。保護者にとっても子育てが楽しいひとときとなるように、ボランティアの協力を得て、今後も、事業の充実に努め、乳幼児期の読書活動を支援します。

#### (2) 区立図書館での乳幼児への支援の充実 (重点的取組み)

##### くブックガイドの作成く

絵本やおはなしを通して子育てを楽しむためのブックガイドを作成し、保健センターでの3歳児健診や、保育園、児童館等で配布し、小学校入学までの間の読書活動を支援します。

##### く読書相談への対応く

子育て中の保護者に積極的に働きかけ、どの絵本を読めばいいのか、その子に合った本をどうやって探したらいいかといった相談に応じ、子供と本との橋渡しができるよう支援します。

##### くあかちゃんおはなし会の実施く

手遊びやあかちゃん絵本による、0歳から2歳までを対象としたおはなし会を行い、0歳からの本とのふれあいを進めます。



#### ＜ 保護者への啓発 ＞

乳幼児を持つ保護者を対象に、本とのかかわりや読み聞かせについての講座を実施し、家庭での読書活動の啓発に努めます。

#### ＜ 保育園・幼稚園・子供園への支援 ＞

保育園、幼稚園、子供園などの読書活動の向上を図るため、児童図書等の貸出などを通じて支援をします。また、図書館が身近なものとなるよう幼稚園児や保育園児の図書館訪問などを積極的に受入れています。

#### (3) 区立児童館における乳幼児、小学生へのサービスの充実

絵本の読み聞かせや絵本の紹介など、乳幼児が本と出会い、親子で本を楽しむことの出来る事業の充実を図ります。また、NPOやボランティアと連携し小学生を対象とした読み聞かせや本を紹介する活動に取り組めます。

#### (4) NPO・ボランティア・PTAとの協働による読書活動の推進

ブックスタート、読み聞かせ、おはなし会、朗読会など、関係機関による読書活動事業や身近な読書施設の運営管理等について、地域ボランティアやNPOなどと協働し、地域ぐるみで子供の読書活動を推進します。

また、読み聞かせなど、PTAによる読書活動を奨励し、充実を図るため「家庭学級」による学習活動を支援します。

#### (5) 地域人材の育成・支援

区立図書館での実践の機会・情報の提供、講演会の開催などを通じて子供の読書活動を支えるNPOやボランティアへの支援を進めます。また、身近でできる読書活動をテーマにした講座等を開催して、地域の人材育成と支援に努めます。

#### (6) 特別な支援を必要とする子供へのサービスの充実

区立図書館では、点字図書館等との連携を図りながら、ユニバーサルデザインによる絵本を用意したり、朗読会を開催するなど、サービスと図書の充実を図ります。また、特別支援学級や関連機関などと連携し、必要なサービスの把握に努め、さまざまな障害のある子供に応じた読書活動を支援していきます。

#### (7) 地域・家庭文庫への支援と連携

区民が自宅などで、地域の子供に本を貸出す「地域・家庭文庫」は、子供に身近な読書環境を提供する貴重な活動です。区立図書館は、区民の主体性を尊重しつつ、「地域・家庭文庫」の活動への支援を行い、協力・連携を図っていきます。

## 2 学校における読書活動の推進

読書の楽しさを実感させ、読書習慣を身に付けさせるとともに、調べ学習等により、問題解決能力や言語能力、情報リテラシーの向上を図るため、特色ある読書活動の推進、学校図書館の充実などに取組みます。

### (1) 特色ある読書活動の推進

#### ＜ 学校ごとの特色ある読書活動の推進 ＞

区立小・中学校では、全校一斉の読書活動や、読書週間における取組み、読み聞かせ、ブックトークの実施など、それぞれの状況に応じて特色ある読書活動を計画的に実施し、読書量の増加や読書の質の向上を図ります。これらの取組みや個別の働きかけにより、「未読者」をなくしていきます。そのために、全小・中学校における読書活動の一層の充実に向けた指導計画を策定します。

#### ＜ 済美教育センター学校図書館支援担当による支援 ＞

区立小・中学校での取組みに対して、済美教育センター学校図書館支援担当（以下「サポートデスク」という。）を中心とした支援を行います。また、各学校で実施している読書活動の取組みについての情報や資料を収集・提供し、先進的な取組みを全校に広げていきます。

### (2) 学校図書館の充実（重点的取組み）

#### ＜ 学校司書の配置等による運営の充実 ＞

学校図書館の運営体制を充実し、読書センター・学習情報センターとしての機能を発揮できるよう、司書教諭、学校司書の全校への配置をめざします。また、司書教諭が、その役割を十分に果たせるよう司書教諭を中心に「学校図書館運営計画」を作成し、学校の全職員を挙げて、組織的に学校図書館を運営する校内体制を確立します。

学校司書配置校での学校司書と教員の連携、未配置校へのサポートデスクによる教員、ボランティアへの指導助言などにより、学校図書館の円滑な運営に努め、授業での活用を推進します。

#### ＜ 図書・施設・設備の整備・充実 ＞

「学校図書館図書標準」を基準に、計画的な図書の購入を進めるとともに、不要となった図書の廃棄など適正な蔵書管理に努めます。

また、児童・生徒が読書や調べ学習を十分に行えるよう、多様な資料の収集を行うとともに、1学級以上の児童・生徒が学習できるよう施設設備

の整備・充実を図ります。

今後、学校図書館間と済美教育センター、区立図書館をネットワークで結び、所蔵情報の共有化を図るとともに、相互貸借システム及び図書資料の配送システムの構築に向けた検討を行います。

### **(3) 教職員の指導体制の充実（重点的取組み）**

教職員を対象とした学校図書館研修を実施し、読書活動や調べ学習等の知識や技術のレベルアップを図ります。

また、学校図書館を活用した授業についての教職員へ指導、助言、済美教育センター教育図書館での学校図書館活動に必要な資料の収集、提供を行います。

### **(4) 休み期間中の読書活動についての指導の充実**

休み期間中の読書活動を行う場として、区立図書館等読書施設の利用案内や行事のPR等を行うとともに、休み期間中の学校図書館の開館を進めていきます。

また、推薦図書のリスト作成・配布など、休み期間中の児童・生徒の読書活動についての支援、指導等を積極的に行います。推薦図書リストによる休み期間中の読書については、新学期に入ってから継続していくよう指導していきます。

### **(5) 地域・ボランティアとの連携**

学校支援本部やPTA等による図書ボランティアの組織等に、学校図書館運営の支援についての協力をお願いし、学校との連携による運営を図ります。また、サポートデスクの活動の一環として、学校支援本部やPTA等による図書ボランティアへの相談に応ずるとともに、研修等の支援を行います。

### **(6) 読書関連事業の充実**

「読書感想文コンクール」、「書評座談会」、「科学創意工夫展」など、さまざまな読書関連行事について、条件整備やPRを強化して児童・生徒の参加を促進するなど事業の充実を図ります。また、区立図書館との連携により、学校での取組みを支援し、「調べる学習賞コンクール」実施校の拡大を図ります。

### **(7) 保育園・幼稚園・子供園での読書活動の充実**

保育園、幼稚園、子供園で日常的に行われている読み聞かせ、おはなし、紙芝居などを通じ、幼児が絵本の楽しさを知り周囲の大人との信頼関係を深められるよう、読書活動の充実を図ります。

### 3 図書館等における読書活動の推進

子供の読書活動の推進のため、身近な図書館が利用しやすく、質の高いサービスが提供できるよう、区立図書館の整備、施設改善や設備などの充実を図っていきます。

また、子供の発達段階に応じたサービスの充実を図るとともに、学校支援の強化、調べる学習賞コンクールの充実などにより、読書環境の向上を図ります。

#### (1) 利用しやすい区立図書館づくり

絵本などの児童図書や中高生向け図書などの蔵書の充実を図り、子供が利用しやすい区立図書館づくりを進めます。

また、利用機会の拡大を図るための、休日等における図書館の開館時間の延長や、授乳施設など施設改善、インターネットパソコンの利用の促進にも取り組めます。

#### (2) 区立図書館の計画的な整備

区立図書館については、7地域14館構想に基づき、現在、13館まで整備が進んでいます。

今後、残された未整備地域の早期の解消に向けて取り組み、杉並区のすべての子供に等しく図書館サービスを提供できるようにします。

#### (3) 図書サービスコーナーの運営

区立図書館の未整備地域においては、手軽に図書の貸出・返却・リクエストが可能になるよう、地域の区立施設や他の公共施設を活用した図書サービスコーナーを運営します。

#### (4) 杉並区子供読書月間を中心としたイベントの実施

杉並区では、地域、家庭、学校で、子供と本の出会いを創造し、子供が自発的に本を読むきっかけとなるようにという趣旨で、6月を杉並区子供読書月間としています。この杉並区子供読書月間を通じて、区立図書館での講演会や展示などのイベントを行います。

また、子ども読書の日（4月23日）、文字・活字文化の日（10月27日）においても、同様の取り組みを実施していきます。

#### (5) 小学生向けのサービスの充実

おはなし会、映画会、スタンプラリー、こども会、小学生対象の講座などの実施や、自由研究の調べ方など調べ学習に関する相談を実施するなど小学生向けのサービスの充実を図ります。

#### (6) 中学生・高校生向けのサービスの充実（重点的取組み）

中学生・高校生へのサービスとして、YA（ヤングアダルト）コーナーの一層の拡大・充実を図ります。また、区立図書館とゆう杉並が協力し中高生が自主的に選んだ作家の講演会等を開催するなど、中学生、高校生向けの企画・事業の充実を図っていきます。

#### (7) 調べる学習賞コンクール等の充実

「調べる学習賞コンクール」「すぎなみ本の帯アイデア賞」について、PRに努め、児童・生徒の参加の促進を図ります。

#### (8) 学校への支援

サポートデスクと協力し、調べ学習用資料の貸出や団体貸出、授業に関連した本の紹介やブックトークなどを推進し、区立小・中学校を支援します。また、調べ学習などに的確に対応できるよう蔵書や資料の充実を図ります。

学校図書館連絡会等を通じて、済美教育センターや小・中学校と連携し、学校及び学校図書館への継続的な支援を行い、児童・生徒の読書活動の推進を図ります。

#### (9) 図書館見学、職場体験、インターンシップへの取組み

図書館見学、職場体験、インターンシップを積極的に受入れ学校を支援するとともに、子供の図書館の利用や読書についての意識を高めます。

#### (10) 児童図書の再活用（リユース）の実施

家庭で不要になった本や図書館で廃棄となった児童図書について、区立図書館を中心として本の再活用（リユース）を実施し、地域での有効利用を図ります。

※ 児童図書とは、幼児向きの絵本や童話、児童文学などの総称

## 4 読書活動に関する情報の発信

図書館ホームページや図書館の行事などを通じて、読書の楽しさやその意義について、子供や保護者に対して積極的な広報や情報提供を行い、周知に努めるとともに、意識啓発を図ります。

### (1) 杉並区子供読書月間を中心とした広報・啓発

杉並区子供読書月間を通じて、さまざまな読書活動のついで取組みが行われるよう、本の楽しさや読書の大切さについて広く周知を図っていきます。

また、子ども読書の日（4月23日）、文字・活字文化の日（10月27日）においても同様の取組みが行われるよう、広報に努めます。

### (2) 子供向けホームページ等による情報発信

図書館ホームページの「こどもページ」で、「こんげつのとくしゅう」、「ほんのとくしゅう」「わたしたちがくらすすぎなみ」「しらべがくしゅう」など、楽しく、興味がわくような内容で情報を提供していきます。

また、ブックスタートや乳幼児向けの情報の掲載や、中高生向けの「ティーンエイジャーのページ」をつくるなど「こどもページ」の充実を図り、各世代へ読書情報を発信していきます。

### (3) 推薦図書リストの発行

中高生向け推薦図書リスト「いま、この本」をまとめた冊子の作成や、中高生自らが友達に読んでほしい本のリストを作成するなど参加型の図書リストを作成し、読書情報を周知していきます。

また、乳幼児と保護者向け、小学生向けなどそれぞれの年代に応じた推薦図書リストの充実を図ります。

### (4) 地域・関係機関の読書活動情報の提供

読み聞かせや朗読を行う団体やグループの活動情報を「図書館だより」や図書館ホームページ等で紹介します。

また、学校や児童館など地域や関係機関で行われているさまざまなイベントなどについて紹介します。

## 5 読書活動を推進するための体制と関係機関の協力・連携

区立図書館を中心とした推進体制を構築するとともに、区立小・中学校や済美教育センター、区内5大学の図書館や子育て支援関連部門など、学校や家庭・地域の読書活動を担う関係機関と一層の協力・連携を図りながら、子供が読書に親しむ機会や環境の充実に努めます。

### (1) 子供読書活動推進委員会との連携

子供読書活動の推進に関する施策や事業について意見・助言を行うため、学識経験者や公募の区民などで構成される「子供読書活動推進委員会」を設置しています。今後も「子供読書活動推進委員会」と中央図書館が相互に協力・連携し、活動の推進に努めていきます。

### (2) 区関係機関との協力・連携体制の推進

#### ＜「(仮称)読書活動推進連絡会」の設置＞

関係機関相互の情報交換や人的交流を深め、子供読書活動を着実に推進していくため、中央図書館、済美教育センター、学校、保育園、幼稚園、子供園、児童館、保健センター、社会教育センターなど、関連部門で構成する「(仮称)読書活動推進連絡会」を設置します。

#### ＜社会教育関係施設等との連携＞

中央図書館、郷土博物館、社会教育センター、科学館などで構成する社会教育関係施設等連絡会議において、社会教育関連部門での情報交換を進めるとともに、子供読書活動推進の施策を検討します。

#### ＜すぎなみ地域大学との連携＞

公共サービスの担い手の育成・支援を目的とした「すぎなみ地域大学」と連携し、図書館ボランティア講座の受講生や修了者などに対しての実習の機会や情報提供などを通じて、NPOやボランティアへの支援を進めます。

### (3) 大学図書館との協力・連携体制の推進

区内5大学との連携を進め、講演会・講座を開催するとともに、中高生や教職員など、区在住、在学、在勤者の大学図書館の利用の促進などを図り、区と区内大学との協力・連携体制を強化していきます。

# 計画の体系図

## 基本的考え方

子供が本と親しむことにより、思考力を高め、表現力を学び、想像力を身に付け豊かな人間性と社会性を育むことができるよう、読書環境を整備する

(1) 子供の読書機会の提供と読書環境の充実

(2) 地域ぐるみでの読書活動推進体制の充実

(3) 子供の読書活動推進のための人材育成

(4) 子供の読書活動に関わる保護者等への支援

## 計画の目標

子供の読書環境を整備し、未読者の割合を「ゼロ」にすることをめざす

小学生 7.1%



0%

中学生 13.0%

(平成 21 年度)

(平成 26 年度)

### 到達指標

①学校図書館図書標準 100%達成の学校の割合	(小中) 80%
②読書活動指導計画策定校の割合	(小中) 100%
③学校図書館の1人当たり年間貸出冊数	小 36冊、中 12冊
④区立図書館の児童資料数	64万冊
⑤区立図書館の子供1人当たり年間利用回数	4回
⑥年間子どもページアクセス回数	65,000回

## 重点的取組み

- 乳幼児への支援及び中学生・高校生向けのサービスの充実
- 学校図書館及び教職員の指導体制の充実

## 子供読書活動推進の取組み

- 1 家庭・地域等における読書活動の推進
- 2 学校における読書活動の推進
- 3 図書館等における読書活動の推進
- 4 読書活動に関する情報の発信
- 5 読書活動を推進するための体制と関係機関の協力・連携



計 画 事 業 一 覧

《 3 1 項 目 》

施 策 ・ 事 業 項 目		主 管 部 門
家 庭 ・ 地 域 等	1 ブックスタート事業の充実	保健センター 児童青少年課・児童館 社会教育スポーツ課 社会教育センター 中央図書館・地域図書館
	2 区立図書館での乳幼児への支援の充実（重点的取組み）	
	3 区立児童館における乳幼児、小学生へのサービスの充実	
	4 NPO・ボランティア・PTA との協働による読書活動の推進	
	5 地域人材の育成・支援	
	6 特別な支援を必要とする子供へのサービスの充実	
	7 地域・家庭文庫への支援と連携	
学 校	1 特色ある読書活動の推進	小中学校 済美教育センター 庶務課 教育改革推進課 中央図書館 幼稚園 保育園 子供園
	2 学校図書館の充実（重点的取組み）	
	3 教職員の指導体制の充実（重点的取組み）	
	4 休み期間中の読書活動についての指導の充実	
	5 地域・ボランティアとの連携	
	6 読書関連事業の充実	
	7 保育園・幼稚園・子供園での読書活動の充実	
図 書 館 等	1 利用しやすい区立図書館づくり	中央図書館・地域図書館
	2 区立図書館の計画的な整備	
	3 図書サービスコーナーの運営	
	4 杉並区子供読書月間を中心としたイベントの実施	
	5 小学生向けサービスの充実	
	6 中学生・高校生向けのサービスの充実（重点的取組み）	
	7 調べる学習賞コンクール等の充実	
	8 学校への支援	
	9 図書館見学、職場体験、インターンシップへの取組み	
	10 児童図書の再活用（リユース）の実施	
情 報 発 信	1 杉並区子供読書月間を中心とした広報・啓発	中央図書館・地域図書館
	2 子供向けホームページ等による情報発信	
	3 推薦図書リストの発行	
	4 地域・関係機関の読書活動情報の提供	
と 連 携 推 進 体 制	1 子供読書活動推進委員会との連携	中央図書館・地域図書館 社会教育スポーツ課 すぎなみ地域大学
	2 区関係機関との協力・連携体制の推進	
	3 大学図書館との協力・連携体制の推進	



## 参考資料

(調査・統計資料等)

1	現行計画の評価	19
2	成果指標の達成状況	21
3	読書数及び未読者の割合	22
	(1) 杉並区の区立小中学校の児童・生徒の状況	
	(2) 東京都の公立小中高等学校の児童・生徒の状況	
	(3) 全国の小中高等学校の児童・生徒の状況	
4	学校図書館の現状	25
	(1) 蔵書冊数	
	(2) 学校図書館図書標準の達成状況	
	(3) 学校図書館における図書購入費の推移	
5	区立図書館の現状	26
	(1) 区立図書館の蔵書冊数の推移	
	(2) 区立図書館の貸出及びリクエストの状況	
	(3) 各館別貸出状況	
	(4) 図書館行事活動の状況	
	(5) 地域・家庭文庫の利用状況	
6	計画改定の検討経過	
7	計画改定検討委員会等	
	(1) 計画改定委員会名簿	
	(2) 計画改定作業部会名簿	
8	「杉並区子供読書活動推進計画」改定検討委員会設置要綱	
9	子どもの読書活動の推進に関する法律	
10	文字・活字文化振興法	

## 1 現行計画の評価

### (1) 家庭・地域等における読書活動について

ブックスタート事業は、対象者の97%にブックスタートパックの配布を行うなど定着しています。

また、児童館における乳幼児向けの「ゆうキッズ」事業、「地域・家庭文庫」の活動等を実施し、成果を得てきました。

NPOや地域ボランティアによる区立図書館や学校図書館、児童館等における読み聞かせやおはなし会、読書活動をテーマとする「家庭学級」実施などにより、家庭、地域等における読書活動支援も着実に推進しました。

しかし、中高生世代のボランティア活動の推進、家庭で不要となった本の有効活用、障害のある子供に配慮したサービスなど取組みの不十分なものもありました。

さらに、事業を実施するなかで、ブックスタート事業後の乳幼児期の読書活動の支援、充実の必要性も浮かび上がってきました。

今後は、取組みが不十分であったものについて改善を図るとともに、子育て支援関係の部門とも連携を図りながら、乳幼児期の子供と家庭への支援を充実していくことが必要です。

### (2) 学校における読書活動について

朝読書の実施、ブックトークなど、特色ある読書活動の実施により、子供の力を育むとともに、読書感想文コンクール、調べる学習賞コンクールなど、全国に誇れる事業を実施しています。

また、重点課題として取組んだ学校図書館の充実については、学校図書館システムの導入、学校司書の配置、サポートデスクの設置、司書教諭の配置など、大きな成果を上げてきました。しかし、休み期間中の学校図書館の開館や、学校図書館システムの活用はまだ充分とは言えず、司書教諭については、12学級未満の学校への配置、本来的な業務を遂行するための条件整備が課題となっています。

さらに、学校司書の全校配置、学校図書館相互及び区立図書館とのネットワーク化といった課題もあります。

今後、こうした課題に取組み、学校における読書活動の一層の推進を図る必要があります。

### (3) 図書館における読書活動について

インターネットパソコンの設置、児童図書の充実、今川図書館・高円寺駅前図書サービスコーナーの開設、図書館システムの更新により利用しやすい図書館づくりやサービスの向上を進めました。また、中央図書館に学校支援担当を設置して、学校図書館への支援を強化し、調べ学習資料の貸出など、学校図書館の充実にも成果を上げました。

しかし、インターネットパソコンの利用は十分とはいえず、休日等における図書館の開館時間の延長、高円寺地域における2番目の図書館の建設も実現していません。

今後、こうした課題を解消し、図書館における読書活動の一層の推進を図る必要があります。

#### **(4) 読書活動に関する情報発信**

子ども読書の日(4月23日)、杉並区子供読書月間における事業の実施、読書活動の啓発、図書館ホームページへの「こどもページ」の開設などにより、読書活動の楽しさや意義について、情報発信を行いました。

しかし、子ども読書の日、杉並区子供読書月間における区立図書館の取組みもまだ充分とはいえず、他の関係部署での取組みも今後の課題です。

今後、学校や関係部署とも連携し、情報発信の取組みを進めていく必要があります。

#### **(5) 読書活動を推進するための体制と関係機関の協力・連携**

子供読書活動推進委員会の意見等に基づき計画事業の推進を図るとともに、学校図書館連絡会の開催により、学校図書館支援の円滑な推進を図りました。

また、大学図書館の区民利用の促進など大学図書館との連携を進めました。

しかし、区関係機関との協力・連携体制は構築されておらず、今後、早急に関係機関相互の協力連携の体制を作っていく必要があります。

## 2 成果指標の達成状況

「学校図書館の図書標準達成率」「中学校における学校図書館へのボランティア等協力校率」を除き、着実に目標達成に向け進んでいます。学校図書館の図書標準達成率が著しく低くなっているのは、平成19年度の学校図書館システム導入に伴い、古い資料を大量に廃棄したことによるものです。この指標は、国の学校図書館図書標準達成率100%の学校の割合を表すもので、図書標準75%～100%の学校でみると小学校55.8%、中学校73.9%となっており、学校図書館の蔵書水準が著しく低いというわけではありませんが、今後達成に向け一段の努力が求められます。

中学校の学校図書館のボランティア等協力校率は目標の100%に対して39.1%と低くなっており、推進を図る必要があります。

また、成果指標には、既に平成22年度目標を達成したものもあり、見直しを行うとともに、26年度の目標を定める必要があります。

### 成果指標達成状況(平成18年度～平成20年度)

成 果 指 標		18年度	19年度	20年度	22年度 (目標値)
1 学校図書館の図書標準達成率 (達成率100%以上の学校の割合) (%)	小学校	38.6	20.5	20.9	80%
	中学校	56.5	39.1	39.1	80%
2 学校図書館のボランティア協力校率 (%)	小学校	90.9	86.4	90.7	100%
	中学校	39.1	43.5	39.1	100%
3 教育課程における読書活動実施校率 (%)	小学校	97.7	100	100	100%
	中学校	78.3	78.3	91.3	100%
4 区立図書館の設置数	区立図書館数	12	13	13	14館
	サビスコナ-数	1	2	2	2所
5 区立図書館の児童資料数 (冊)		572,185	547,418	563,736	600,000冊
6 区立図書館の児童利用回数 (資料貸出人数÷児童人口) (回)		3.0	2.5	2.5	4回/年
7 区立図書館の児童登録者数 (人)		20,259	35,408	27,456	25,000人
8 児童向け図書館ホームページのアクセス回数 (回)		—	—	—	65,000回/年

※学校図書館の図書標準達成率について、平成19年度の初めに、各学校とも大量の図書の廃棄を行ったため、図書標準達成率はいったん低くなっている。

※児童向け図書館ホームページのアクセス回数については、平成21年度システムを改修し、回数のカウントを開始する。

### 3 読書数及び未読者の割合

#### (1) 杉並区の区立小中学校の児童・生徒の状況

##### ①小学校

1 か月間の平均読書数 (冊)

	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
第 3 学年	13.5	12.4	14.4	11.7	11.9
第 4 学年	9.0	10.4	9.9	10.4	10.4
第 5 学年	6.5	7.1	6.8	8.2	8.2
第 6 学年	5.4	5.2	5.2	6.5	6.6
平均	8.6	8.8	9.1	9.2	9.3

未読者の割合 (%)

	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
第 3 学年	2.7	2.6	2.5	5.2	6.4
第 4 学年	3.2	2.6	2.5	5.5	5.8
第 5 学年	5.5	4.7	4.5	6.3	6.9
第 6 学年	8.5	6.9	6.3	8.1	9.4
平均	5.0	4.2	4.0	6.3	7.1

##### ②中学校

1 か月間の平均読書数 (冊)

	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
第 1 学年	3.6	3.7	3.5	4.8	5.2
第 2 学年	3.0	3.0	3.1	4.5	4.3
第 3 学年	2.9	2.7	2.9	3.6	3.6
平均	3.1	3.1	3.1	4.3	4.4

未読者の割合 (%)

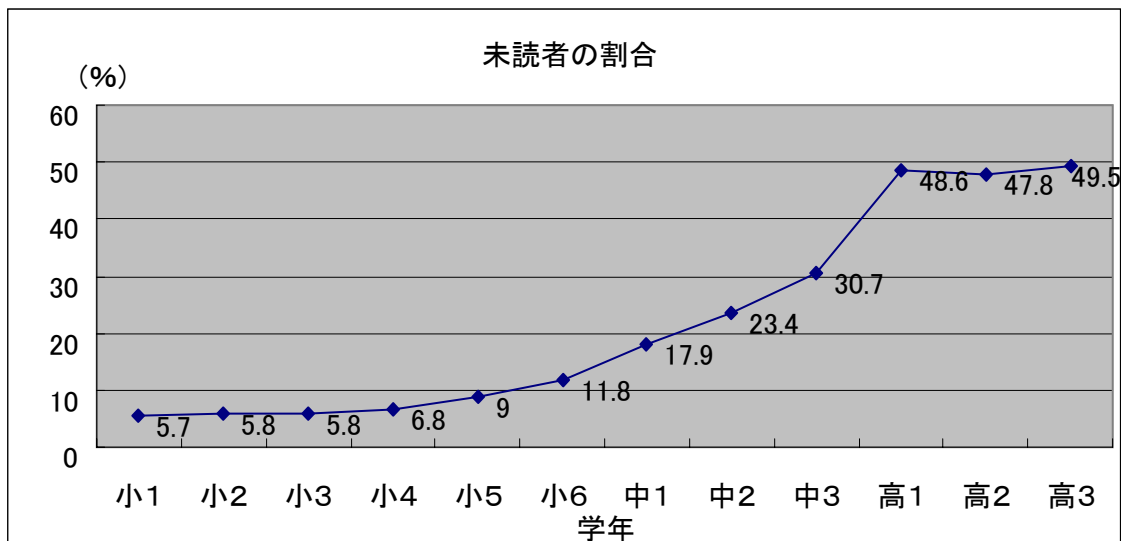
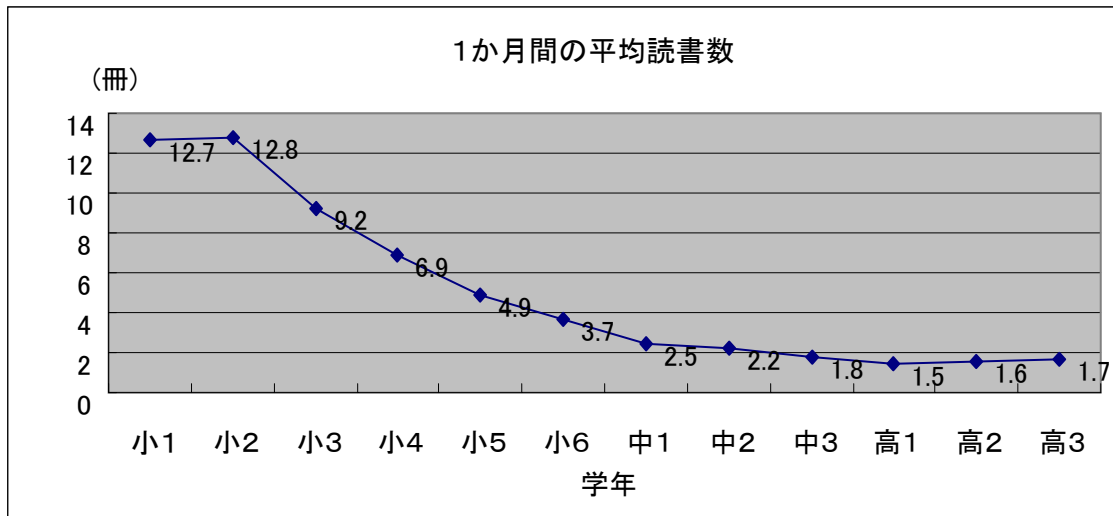
	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
第 1 学年	11.1	10.0	9.8	10.0	10.8
第 2 学年	16.2	14.0	12.8	10.8	13.4
第 3 学年	17.7	14.7	12.7	18.3	14.8
平均	15.0	13.0	11.8	13.0	13.0

※ 杉並区立小・中学校学力調査、意識・実態調査結果報告書

(平成 16～18 年度は 1 月～2 月、平成 20・21 年度は 5 月に実施。平成 19 年度は未実施)

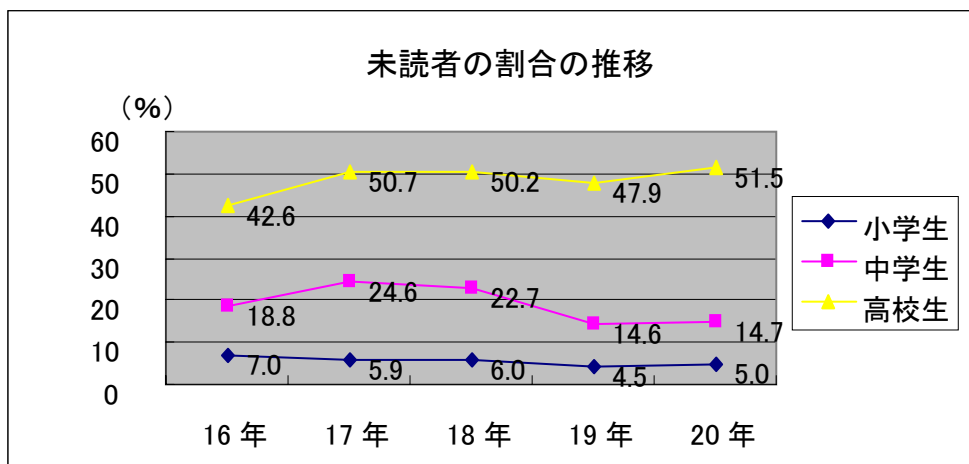
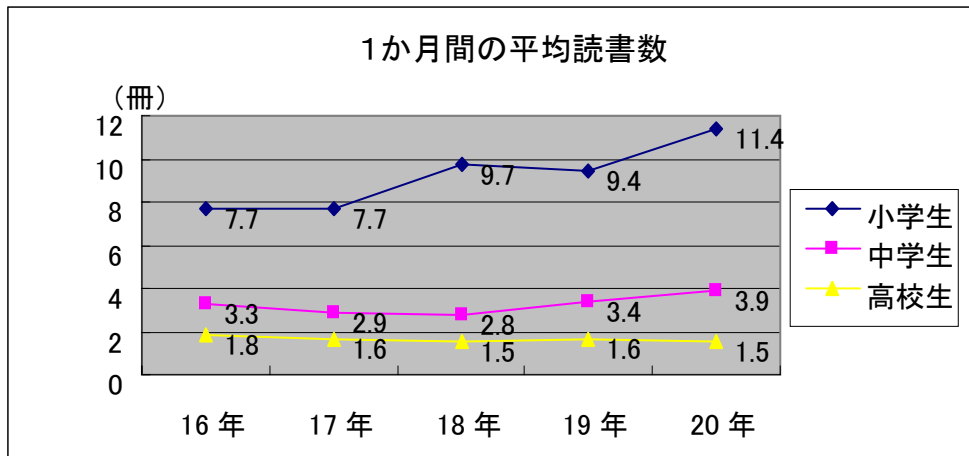


(2) 東京都の公立小中高等学校の児童・生徒の状況 (平成19年度)



※ 東京都教育庁 児童・生徒の読書の状況及び学校における読書活動等に関する調査

### (3) 全国の小中高等学校の児童・生徒の状況



※ 全国学校図書館協議会・毎日新聞社共同調査「第54回学校読書調査」  
 調査方法 全国の小学校31校、中学校39校、高校39校のサンプル調査

## 4 学校図書館の現状 (杉並区立小中学校の学校図書館の図書等の整備状況)

### (1) 蔵書冊数

	総蔵書冊数 (千冊)		1校あたりの蔵書数 (冊)	
	全 国	杉並区	全 国	杉並区
小学校	166,251 (千冊)	298 (千冊)	7,606 (冊)	6,920 (冊)
中学校	95,596 (千冊)	196 (千冊)	9,451 (冊)	8,525 (冊)

※ 全国の数字は、文部科学省（平成20年度「学校図書館の現状に関する調査結果」）より、  
19年度末現在。杉並区の数字は、20年度末現在

### (2) 学校図書館図書標準の達成状況

図書標準 (※) に占める 現有冊数の割合	小学校		中学校	
	全 国	杉並区	全 国	杉並区
25%未満	0.5%	0.0%	1.1%	0.0%
25%以上50%未満	4.0%	0.0%	6.2%	4.3%
50%以上75%未満	18.7%	44.2%	21.8%	21.7%
75%以上100%未満	31.5%	34.9%	31.5%	34.8%
100%以上	45.2%	20.9%	39.4%	39.1%

※ 全国の数字は、文部科学省（平成20年度「学校図書館の現状に関する調査結果」）より、19年度末  
現在。杉並区の数字は、20年度末現在

### (3) 学校図書館における図書購入費の推移

施 設	項 目	平成18年度	平成19年度	平成20年度
学 校	図書購入費 (円)	30,742,345	31,602,961	30,323,750
	1学級当たりの購入費 (円)	54,029	55,347	51,659
	(全学級数)	(569)	(571)	(587)
図 書 館	図書購入費	13,851,102	13,155,989	13,609,899
	1学級当たりの購入費 (円)	74,070	67,814	72,780
	(全学級数)	(187)	(194)	(187)
	図書購入費合計 (円)	44,593,447	44,758,950	43,933,649

※ (参考) 文部科学省 学校図書館図書標準

小学校		中学校	
学級数	冊 数	学級数	冊 数
1	2,400	1～2	4,800
2	3,000	3～6	4,800+640×(学級数-2)
3～6	3,000+520×(学級数-2)	7～12	7,360+560×(学級数-6)
7～12	5,080+480×(学級数-6)	13～18	10,720+480×(学級数-12)
13～18	7,960+400×(学級数-12)	19～30	13,600+320×(学級数-18)
19～30	10,360+200×(学級数-18)	☆学級数=普通学級数	

## 5 区立図書館の現状

### (1) 区立図書館の蔵書冊数の推移

平成21年3月末現在

図書館名	平成18年度			平成19年度			平成20年度		
	一般	児童	合計	一般	児童	合計	一般	児童	合計
中央図書館	冊 524,355	冊 195,442	冊 719,797	冊 508,075	冊 146,662	冊 654,737	冊 538,915	冊 154,032	冊 692,947
馬橋ふれあい	1,415	3,486	4,901	1,994	4,049	6,043	1,470	3,238	4,708
善福寺ふれあい	1,500	3,753	5,253	—	—	—	—	—	—
永福図書館	110,964	31,553	142,517	114,273	32,044	146,317	114,891	32,271	147,162
柿木図書館	92,691	26,144	118,835	92,602	26,577	119,179	95,206	26,879	122,085
高円寺図書館	115,176	37,578	152,754	106,557	32,370	138,927	116,686	35,752	152,438
宮前図書館	98,745	26,471	125,216	103,238	27,775	131,013	99,715	28,298	128,013
成田図書館	76,772	28,251	105,023	77,916	30,302	108,218	78,371	30,410	108,781
西荻図書館	109,973	39,691	149,664	108,036	38,355	146,391	111,106	38,999	150,105
阿佐谷図書館	104,692	37,553	142,245	109,467	37,272	146,739	112,906	37,888	150,794
南荻窪図書館	100,815	36,348	137,163	106,447	36,435	142,882	109,210	37,158	146,368
下井草図書館	98,596	31,135	129,731	102,790	33,537	136,327	104,273	34,026	138,299
高井戸図書館	91,888	30,630	122,518	99,733	32,189	131,922	95,994	30,797	126,791
方南図書館	36,415	44,150	80,565	44,533	43,478	88,011	50,548	45,567	96,115
今川図書館	—	—	—	43,672	26,373	70,045	50,332	28,421	78,753
合計	1,563,997	572,185	2,136,182	1,619,333	547,418	2,166,751	1,679,623	563,736	2,243,359

### (2) 区立図書館の貸出及びリクエストの状況

区分		平成18年度			平成19年度			平成20年度		
		一般	児童	合計	一般	児童	合計	一般	児童	合計
個人貸出	貸出登録者数	人 92,227	人 20,259	人 112,486	人 200,440	人 35,408	人 235,848	人 129,517	人 27,360	人 156,877
	貸出者数	996,566	186,683	1,183,249	1,039,772	161,418	1,201,190	1,000,125	158,643	1,158,768
	貸出冊数	冊 2,770,483	冊 960,143	冊 3,730,626	冊 3,546,070	冊 843,409	冊 4,389,479	冊 3,776,172	冊 844,236	冊 4,620,408
団体貸出	登録団体数	654 団体			846 団体			1,161 団体		
	貸出回数	4,992 回			3,264 回			3,363 回		
	貸出冊数	282,053 冊			290,882 冊			240,980 冊		
リクエスト件数 (区内処理)		527,996 件			741,278 件			964,203 件		

### (3) 各館別貸出状況 (平成20年度)

図書館名	個人貸出						団体貸出	
	貸出者数			貸出冊数			貸出回数	貸出冊数
	一般	児童	合計	一般	児童	合計		
中央	人 158,526	人 14,452	人 172,978	冊 610,923	冊 79,733	冊 690,656	回 198	冊 2,467
団体貸出	—	—	—	—	—	—	930	86,538
馬橋ふれあい	416	108	524	1,937	578	2,515	—	—
永福	65,288	9,524	74,812	249,128	52,258	301,386	165	10,302
柿木	60,900	9,819	70,719	235,532	49,935	285,467	364	18,170
高円寺	57,766	6,258	64,024	208,950	32,976	241,926	233	17,304
宮前	77,318	15,596	92,914	300,215	85,592	385,807	178	17,056
成田	69,916	11,221	81,137	246,691	52,543	299,234	186	18,658
西荻	82,883	9,927	92,810	301,549	53,328	354,877	169	16,893
阿佐谷	92,706	12,892	105,598	318,093	64,965	383,058	137	7,039
南荻窪	58,271	11,798	70,069	225,137	60,594	285,731	105	8,688
下井草	80,904	13,987	94,891	306,361	77,649	384,010	194	8,969
高井戸	78,707	14,158	92,865	313,786	78,156	391,942	295	17,410
方南	52,664	12,495	65,159	206,314	68,578	274,892	171	11,261
今川	63,860	16,408	80,268	251,556	87,351	338,907	38	225
合計	1,000,125	158,643	1,158,768	3,776,172	844,236	4,620,408	3,363	240,980

### (4) 図書館行事活動の状況 (平成20年度)

ブックスタート 配布数	3,829パック
お話し会	829回
映画会 (児童対象)	239回
講演会、講座、人形劇、こども会	101回
ブックトーク	84回
図書館見学	31回

### (5) 地域・家庭文庫の利用状況

平成21年3月末現在

地域・家庭文庫名	所在地	代表者	利用者 (平成20年度)
ジルベルト文庫	高井戸西3丁目	岸田晴美	1,219人
ちいさいおうち文庫	今川3丁目	坪内美津子	1,197人
なかよし文庫	浜田山4丁目	星里江	68人
のびのび文庫	下井草2丁目	岸洋子	395人
バンビぶんど	高井戸東4丁目	澁川慧子	873人
文庫ピッピ	大宮1丁目	市川早苗	427人
ポケット文庫	天沼1丁目	湯沢朱実	544人
ポプラ文庫	井草1丁目	中島眞理	719人
このあの文庫	天沼1丁目	小宮由	327人